

TOHOKU
UNIVERSITY

LECTURE

木村真樹氏 MASAKI KIMURA

地域を支える取り組みに資金が循環するには? 「お金の地産地消白書を読む会 in 仙台」

コミュニティ・ユース・バンク momo 代表理事
公益財団法人あいちコミュニティ財団 代表理事

景気が低迷し、国の財政も縮小していく中、その答えのひとつは「地域金融機関がNPO支援に参画することにある」と考えた、「コミュニティ・ユース・バンク momo」。地域金融機関がNPO支援に本気で参画することを目指し、『お金の地産地消白書 2014』という冊子を発行しました。この冊子は、NPO 法人への信用保証制度が解禁されるのを前に、新たな融資先としてのNPOの可能性や、今後地域金融機関とNPOの連携を深めていくために必要なファクターなどがまとめられています。今回はこの白書を取りまとめたmomoの木村真樹氏をお招きし、地域での資金循環について考えます。地域金融機関・地方公共団体など、ソーシャルビジネス支援機関の職員の方はもちろん、社会的事業にご興味ご関心のある方、是非ご参加下さい。

日時 2016年9月13日(火)19:00-21:00 (18:40 受付)

定員 25名(先着順)

場所 東北大学片平キャンパス エクステンション教育研究棟 6階セミナー室(601)
<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/katahira/areac.html> (FC07の建物)

締切 2016年9月12日(月)24:00まで

主催 東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター

対象 大学生・一般の方

申込 ご参加なさる方のお名前、ご所属を下記メールアドレスにお送り下さい。
kazuma@wakatsuku.jp (担当: 地域イノベーション研究センター 渡辺)

費用 参加費無料(テキスト無料配布)



ゲスト紹介 木村 真樹(きむら まさき)氏

1977年愛知県名古屋市生まれ。静岡大学卒業後、中京銀行勤務を経て、A SEED JAPAN事務局長やap bank運営事務局スタッフなどを歴任。2005年にコミュニティ・ユース・バンクmomoを設立し、若者たちによる「お金の地産地消」の推進や、市民公益活動への伴走支援を行っている。13年にはあいちコミュニティ財団を設立し、14年に公益財団法人として愛知県から認定。中京大学大学院客員教員、東海若手起業塾実行委員会理事/事務局長、全国NPOバンク連絡会副理事長、全国コミュニティ財団協会副会長、日本NPOセンター評議員、日本ファンドレイジング協会理事/認定講師/認定ファンドレイザーなども務める。15年に第3回「日経ソーシャルイニシアチブ大賞」国内部門賞、16年に寄付月間2015公式認定企画大賞を受賞。

社会イノベーター人材育成塾

本事業は、東北地域において社会的課題を解決する事業を構想し運営していくリーダーとなる「社会イノベーター」の育成・支援に取り組むもので、経済同友会が東北の人々や経済の元気を取り戻すために実施している復興支援プロジェクト(IPPO IPPO NIPPON プロジェクト)からの寄付金でまかなわれています。地域イノベーション研究センターでは、東北各地で地域再生のために活躍しているリーダーたちに、第一線の社会イノベーターから手法やマインドを学ぶ場を設け、地域づくりの考え方や実行能力の向上を支援します。また、一般の方にも本事業を開放し、社会イノベーターを目指す人材を輩出していきます。

社会起業家のトップランナーをお招きし、社会課題解決の方法を学び、
そして、私たちが「新しい社会を創る方法」を共に考える機会です。

1:筆記用具・メモ用紙をご持参ください。2:申込した方で、参加できなくなった場合は、必ず申込登録メールに記載のメールアドレスへご連絡ください。